

2日 水曜

エレミヤ

26:16 すると、首長たちとすべての民は、祭司や預言者たちに言った。「この人は死刑に当たらない。私たちの神、主の名によって、彼は私たちに語ったのだから。」

26:17 それで、その地の長老たちの幾人かが立って、民の全集団に語って言った。

26:18 「かつてモレシエテ人ミカも、ユダの王ヒゼキヤの時代に預言して、ユダのすべての民に語って言ったことがある。『万軍の主はこう仰せられる。シオンは畑のように耕され、エルサレムは廃墟となり、この宮の山は森の丘となる。』

26:19 そのとき、ユダの王ヒゼキヤとユダのすべての人は彼を殺しただろうか。ヒゼキヤが主を恐れ、主に願ったので、主も彼らに語ったわざわざいを思い直されたではないか。ところが、私たちは我が身に大きなわざわざいを招こうとしている。」

26:20 ほかに主の名によって預言している人がいた。すなわち、キルヤテ・エアリムの出のシェマヤの子ウリヤで、彼はこの町とこの国に対して、エレミヤのことばと全く同じような預言をしていた。

26:21 エホヤキム王と、そのすべての勇士や、首長たちは、彼のこれとを聞いた。王は彼を殺そうとしたが、ウリヤはこれを聞いて恐れ、エジプトへ逃げて行った。

26:22 そこでエホヤキム王は人々をエジプトにやった。すなわち、アクボルの子エルナタンに人々を同行させて、エジプトに送った。

26:23 彼らはウリヤをエジプトから連れ出し、エホヤキム王のところに連れて来たので、王は彼を剣で打ち殺し、そのしかばねを共同墓

地に捨てさせた。

26:24 しかし、シャファンの子アヒカムはエレミヤをかばい、エレミヤが民の手に渡されて殺されないようにした。

この当時のユダでは、神のことばを語るのは命がけでした。エレミヤと同じ預言をしたウリヤは、王に捕らえられて殺されました。エレミヤも後に殺されたとの伝承があります。同じ働きをしても、生かされるかどうか、いつまで生きるかは主の御手の中にあるのです。自分は損をしていると思うこともあるかもしれませんが、主におまかせしましょう。

ここではエレミヤは「首長たちとすべての民」「シャファンの子アヒカム」によって守られました。私たちの命も、立場も、財産も、評価も、実績も、主が必要とあれば守ってくださいから、主にお任せしましょう。



①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

